

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理 科	科学と人間生活【前期】	2単位	6	10	8

◇科目の目標

○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

◇科目の概要

○自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

◇学習の進め方

○事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かうことが重要であることに留意すること。

◇履修にあたっての留意点

○教科書を十分に活用する。NHK高校講座なども参考にするとよい。

◇スクーリング計画【1年科目】

回数	開 講 月 日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/26・27 ②	1	第1編 生命の科学 第1章 微生物とその利用	P.01～P.36
2	5/3・4 ④	2	第1編 生命の科学 前編【表】 第1章 ヒトの生命現象	P.38～P.62
3	5/10・11 ②	2	第1編 生命の科学 後編【裏】 第1章 ヒトの生命現象	P.38～P.62
4	5/17・18 ①	3	第2編 物質の科学 前編【表】 第1章 衣料と食品	P.64～P.84
5	5/24・25 ⑥	3	第2編 物質の科学 後編【裏】 第2章 材料とその再利用	P.86～P.112
6	6/21・22 ⑤	4	第3編 光や熱の科学 前編【表】 第1章 光の性質とその利用	P.114～P.134
7	6/28・29 ①	4	第3編 光や熱の科学 後編【裏】 第2章 熱の性質とその利用	P.136～P.154
8	7/5・6 ③	5	第4編 宇宙や地球の科学 前編【表】 第1章 自然景観と自然災害	P.156～P.180
9	7/12・13 ⑤	5	第4編 宇宙や地球の科学 後編【裏】 第2章 太陽と地球	P.182～P.202
10	7/19・20 ⑥	6	第4編 宇宙や地球の科学 学習内容の整理・思考力まとめ	P.182～P.222

◇テスト範囲

中 間	レポート NO.1 ・ NO.2 ・ NO.3	期 末	レポート NO.4 ・ NO.5 ・ NO.6
-----	-------------------------	-----	-------------------------

◇成績評価の方法

◆ 観点別評価項目

【 知識・技能 】 …… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している。

【思考・判断・表現】 …… 自然の事物・現象から問題を見出し、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

◆ 観点別評価基準

【知・技】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【思・判・表】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【主 体 的】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

◇使用教科書

「科学と人間生活」 東京書籍【2 東書 科人 002-901】

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理 科	科学と人間生活【後期】	2単位	6	10	8

◇科目の目標

○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

◇科目の概要

○自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

◇学習の進め方

○事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かうことが重要であることに留意すること。

◇履修にあたっての留意点

○教科書を十分に活用する。NHK高校講座なども参考にするとよい。

◇スクーリング計画【1年科目】

回数	開 講 月 日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/11・12 ⑥	1	第1編 生命の科学 第1章 微生物とその利用	P.01～P.36
2	10/19・20 ⑥	2	第1編 生命の科学 前編【表】 第1章 ヒトの生命現象	P.38～P.62
3	10/25・26 ④	2	第1編 生命の科学 後編【裏】 第1章 ヒトの生命現象	P.38～P.62
4	11/1・2 ②	3	第2編 物質の科学 前編【表】 第1章 衣料と食品	P.64～P.84
5	11/8・9 ②	3	第2編 物質の科学 後編【裏】 第2章 材料とその再利用	P.86～P.112
6	12/6・7 ⑤	4	第3編 光や熱の科学 前編【表】 第1章 光の性質とその利用	P.114～P.134
7	12/13・14 ③	4	第3編 光や熱の科学 後編【裏】 第2章 熱の性質とその利用	P.136～P.154
8	12/20・21 ②	5	第4編 宇宙や地球の科学 前編【表】 第1章 自然景観と自然災害	P.156～P.180
9	12/27・28 ⑤	5	第4編 宇宙や地球の科学 後編【裏】 第2章 太陽と地球	P.182～P.202
10	1/10・11 ②	6	第4編 宇宙や地球の科学 学習内容の整理・思考力まとめ	P.182～P.222

◇テスト範囲

中 間	レポート NO.1 ・ NO.2 ・ NO.3	期 末	レポート NO.4 ・ NO.5 ・ NO.6
-----	-------------------------	-----	-------------------------

◇成績評価の方法

◆ 観点別評価項目

【 知識・技能 】 …… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している。

【思考・判断・表現】 …… 自然の事物・現象から問題を見出し、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

◆ 観点別評価基準

【知・技】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【思・判・表】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【主 体 的】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

◇使用教科書

「科学と人間生活」 東京書籍【2 東書 科人 002-901】

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	生物基礎	前期2単位	6	10	8

◇科目の目標

「階層性」「進化」の観点から、生物の世界について理解を深める。生物や生命現象に関する諸課題を扱い、基本的な概念や原理・法則を理解させるとともに、科学的な自然観を育てる。

◇科目の概要

生物の特徴、遺伝子とその働き、生物の体内環境の維持、生物の多様性と生態系について学習する。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングに参加し、理解を深める。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことで基礎的な理解を深める。理科の基本である実験や観察については時間的な制約もあり、NHKの高校講座などを活用していく。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート	授業内容	教科書ページ
1	4/26.27	1	生物の多様性と共通性 細胞の特徴	14～24
2	5/3.4	1	生物とエネルギー 酵素のはたらき	24～45
3	5/10.11	2	遺伝情報とDNA DNAの複製と分配	46～61
4	5/17.18	3	遺伝情報とタンパク質の合成 DNAとタンパク質の合成	62～66
5	5/24.25	3	遺伝情報とタンパク質の合成 細胞の分化と遺伝子	67～77
6	6/21.22	4	ヒトの体を調節するしくみ 体内環境	78～105
7	6/28.29	4	ヒトの体を調節するしくみ 神経系による情報伝達	78～105
8	7/5.6	5	免疫のはたらき 免疫のしくみ	106～111
9	7/12.13	5	免疫の応用 免疫とさまざまな疾患	112～125
10	7/19.20	6	生物の多様性と生態系 植生と遷移 バイオーム	126～171

◇テスト範囲

中間	レポート 1, 2, 3	期末	レポート 4, 5, 6
----	--------------	----	--------------

◇成績評価の方法

▽成績（評定）はテスト・レポート・面接出席状況等から総合的に評価する

▼観点別評価項目

【知識・技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書

改訂 新編生物基礎 東京書籍

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	地学基礎	後期2単位	6	10	8

◇科目の目標

「地球」を中心に据えた観点から、自然界の成り立ちについて理解を深める。天文、地震、火山気象に関する諸課題を扱い、基本的な概念や原理を理解させるとともに、科学的な自然観を育てる。

◇科目の概要

天文、地震、火山、気象に関して、基本的な概念や原理を学習する。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングに参加し、理解を深める。

◇履修にあたっての留意点

教科書をよく読み、理解を深める。実験や観察をしていくのが理科の基本であるが、時間的な制約があるので、NHKの高校講座などを参考にしていく。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート	授業内容	教科書
1	10/11.12	1	1編 私たちの大地	10~23
2	10/19.20	1	1編 私たちの大地	24~39
3	10/25.26	2	1編 私たちの大地／2編 私たちの空と海	40~61
4	11/1.2	2/3	2編 私たちの空と海	62~81
5	11/8.9	3	2編 私たちの空と海	82~103
6	12/6.7	4	3編 私たちの宇宙の誕生	104~115
7	12/13.14	4	3編 私たちの宇宙の誕生	116~131
8	12/20.21	5	4編 私たちの地球の歴史	132~149
9	12/27.28	5/6	4編 私たちの地球の歴史／5編 地球に生きる私たち	150~167
10	1/10.11	6	5編 地球に生きる私たち	168~191

◇テスト範囲

中間	レポート 1, 2, 3	期末	レポート 4, 5, 6
----	--------------	----	--------------

◇成績評価の方法

▼観点別評価項目

【知識・技能】

… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】

… 自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】

… 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【主体的】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書 改訂地学基礎（東京書籍）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理 科	化学基礎 【前期】	2単位	6	10	8

◇科目の目標

○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

◇科目の概要

○自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、デジタル観察、デジタル実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。

◇学習の進め方

○事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かうことが重要であることに留意すること。

◇履修にあたっての留意点

○教科書を十分に活用する。NHK高校講座なども参考にするとよい。

◇スクーリング計画【2年科目】

回数	開 講 月 日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/26・27 ⑤	1	第1編 物質の構成 第1章 物質の成分と構成元素	P.01～P.24
2	5/3・4 ⑥	2	第1編 物質の構成 前編【表】 第1章 原子の構造と元素の周期表	P.46～P.57
3	5/10・11 ④	2	第1編 物質の構成 後編【裏】 第1章 原子の構造と元素の周期表	P.46～P.57
4	5/17・18 ③	3	第1編 物質の構成 前編【表】 第1章 化学結合	P.58～P.89
5	5/24・25 ④	3	第1編 物質の構成 後編【裏】 第1章 化学結合	P.58～P.89
6	6/21・22 ③	4	第2編 物質の変化 前編【表】 第1章 物質と化学反応式	P.96～P.122
7	6/28・29 ③	4	第2編 物質の変化 後編【裏】 第1章 物質と化学反応式	P.96～P.122
8	7/5・6 ⑤	5	第2編 物質の変化 前編【表】 第2章 酸と塩基	P.124～P.152
9	7/12・13 ③	5	第2編 物質の変化 後編【裏】 第2章 酸と塩基	P.124～P.152
10	7/19・20 ④	6	第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応	P.154～P.182

◇テスト範囲

中 間	レポート NO.1 ・ NO.2 ・ NO.3	期 末	レポート NO.4 ・ NO.5 ・ NO.6
-----	-------------------------	-----	-------------------------

◇成績評価の方法

◆ 観点別評価項目

【 知識 ・ 技能 】 …… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している。

【思考・判断・表現】 …… 自然の事物・現象から問題を見出し、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

◆ 観点別評価基準

【知 ・ 技】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【思・判・表】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【主 体 的】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

◇使用教科書

「化学基礎」 東京書籍【2 東書 化基 002-902】

教科名	科 目 名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理 科	化学基礎 【後期】	2単位	6	10	8

◇科目の目標

○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

◇科目の概要

○自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、デジタル観察、デジタル実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現している。

◇学習の進め方

○事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かうことが重要であることに留意すること。

◇履修にあたっての留意点

○教科書を十分に活用する。NHK高校講座なども参考にするとよい。

◇スクーリング計画【2年科目】

回数	開 講 月 日	レポ番号	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10/11・12 ④	1	第1編 物質の構成 第1章 物質の成分と構成元素	P.01～P.24
2	10/19・20 ④	2	第1編 物質の構成 前編【表】 第1章 原子の構造と元素の周期表	P.46～P.57
3	10/25・26 ①	2	第1編 物質の構成 後編【裏】 第1章 原子の構造と元素の周期表	P.46～P.57
4	11/1・2 ④	3	第1編 物質の構成 前編【表】 第1章 化学結合	P.58～P.89
5	11/8・9 ⑤	3	第1編 物質の構成 後編【裏】 第1章 化学結合	P.58～P.89
6	12/6・7 ②	4	第2編 物質の変化 前編【表】 第1章 物質と化学反応式	P.96～P.122
7	12/13・14 ⑥	4	第2編 物質の変化 後編【裏】 第1章 物質と化学反応式	P.96～P.122
8	12/20・21 ④	5	第2編 物質の変化 前編【表】 第2章 酸と塩基	P.124～P.152
9	12/27・28 ③	5	第2編 物質の変化 後編【裏】 第2章 酸と塩基	P.124～P.152
10	1/10・11 ④	6	第2編 物質の変化 第3章 酸化還元反応	P.154～P.182

◇テスト範囲

中 間	レポート NO.1 ・ NO.2 ・ NO.3	期 末	レポート NO.4 ・ NO.5 ・ NO.6
-----	-------------------------	-----	-------------------------

◇成績評価の方法

◆ 観点別評価項目

【 知識 ・ 技能 】 …… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している。

【思考・判断・表現】 …… 自然の事物・現象から問題を見出し、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【主体的に学習に取り組む態度】・自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

◆ 観点別評価基準

【知 ・ 技】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【思・判・表】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

【主 体 的】 A: 合格基準を超え、優れている。 B: 合格基準に達している C: 不合格

◇使用教科書

「化学基礎」 東京書籍【2 東書 化基 002-902】

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	地学基礎	前期2単位	6	10	8

◇科目の目標

「地球」を中心に据えた観点から、自然界の成り立ちについて理解を深める。天文、地震、火山気象に関する諸課題を扱い、基本的な概念や原理を理解させるとともに、科学的な自然観を育てる。

◇科目の概要

天文、地震、火山、気象に関して、基本的な概念や原理を学習する。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングに参加し、理解を深める。

◇履修にあたっての留意点

教科書をよく読み、理解を深める。実験や観察をしていくのが理科の基本であるが、時間的な制約があるので、NHKの高校講座などを参考にしていく。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート	授業内容	教科書
1	4/26.27	1	1編 私たちの大地	10~23
2	5/3.4	1	1編 私たちの大地	24~39
3	5/10.11	2	1編 私たちの大地／2編 私たちの空と海	40~61
4	5/17.18	2/3	2編 私たちの空と海	62~81
5	5/24.25	3	2編 私たちの空と海	82~103
6	6/22.23	4	3編 私たちの宇宙の誕生	104~115
7	6/28.29	4	3編 私たちの宇宙の誕生	116~131
8	7/5.6	5	4編 私たちの地球の歴史	132~149
9	7/12.13	5/6	4編 私たちの地球の歴史／5編 地球に生きる私たち	150~167
10	7/19.20	6	5編 地球に生きる私たち	168~191

◇テスト範囲

中間	レポート 1, 2, 3	期末	レポート 4, 5, 6
----	--------------	----	--------------

◇成績評価の方法

▼観点別評価項目

【知識・技能】

… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】

… 自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】

… 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【主体的】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書 改訂地学基礎（東京書籍）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	地学基礎	後期2単位	6	10	8

◇科目の目標

「地球」を中心に据えた観点から、自然界の成り立ちについて理解を深める。天文、地震、火山気象に関する諸課題を扱い、基本的な概念や原理を理解させるとともに、科学的な自然観を育てる。

◇科目の概要

天文、地震、火山、気象に関して、基本的な概念や原理を学習する。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。スクーリングに参加し、理解を深める。

◇履修にあたっての留意点

教科書をよく読み、理解を深める。実験や観察をしていくのが理科の基本であるが、時間的な制約があるので、NHKの高校講座などを参考にしていく。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート	授業内容	教科書
1	10/11.12	1	1編 私たちの大地	10~23
2	10/19.20	1	1編 私たちの大地	24~39
3	10/25.26	2	1編 私たちの大地／2編 私たちの空と海	40~61
4	11/1.2	2/3	2編 私たちの空と海	62~81
5	11/8.9	3	2編 私たちの空と海	82~103
6	12/6.7	4	3編 私たちの宇宙の誕生	104~115
7	12/13.14	4	3編 私たちの宇宙の誕生	116~131
8	12/20.21	5	4編 私たちの地球の歴史	132~149
9	12/27.28	5/6	4編 私たちの地球の歴史／5編 地球に生きる私たち	150~167
10	1/10.11	6	5編 地球に生きる私たち	168~191

◇テスト範囲

中間	レポート 1, 2, 3	期末	レポート 4, 5, 6
----	--------------	----	--------------

◇成績評価の方法

▼観点別評価項目

【知識・技能】

… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】

… 自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】

… 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【主体的】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書 改訂地学基礎（東京書籍）

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	生物	通年3単位	9	14	12

◇科目の目標

生物や生物現象に対する探究心を高め、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。

◇科目の概要

生命現象と物質、遺伝、生殖と発生、環境応答、生態、進化と系統について学ぶ。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。

◇履修にあたっての留意点

教科書をよく読み、面接での解説を聞き、理解を深める。

◇スクーリング計画

回数	開講月日	レポート	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4/26.27	1	共通性と多様性をつなぐ進化、生命の誕生	8～15
2	5/3.4	2	生命の多様性と地球環境の変化	16～19
3	5/10.11	2	生命の変遷	22～29
4	5/17.18	3	遺伝的変異が生じるしくみ	28～85
5	5/24.25	3	細胞を構成する成分	88～93
6	6/21.22	4	細胞膜の透過、細胞の構造	94～102
7	6/28.29	5	タンパク質の構造	103～107
8	7/5.6	5	酵素としてはたらくタンパク質	110～121
9	7/19.20	6	遺伝子と染色体、複対立遺伝子	32～33
10	10/19.20	6	代謝とエネルギー、呼吸	128～159
11	11/1.2	7	遺伝情報とその発現、動物の発生	160～211
12	12/6.7	7/8	発生運命と遺伝子発現、クローン技術、遺伝子操作	212～224
13	12/13.14	8	ニューロン、興奮の伝導	225～273
14	12/27.28	9	興奮の伝達、神経系、反射、行動	274～317

◇テスト範囲

前期	レポート 1, 2, 3, 4, 5	後期	レポート 6, 7, 8, 9
----	--------------------	----	-----------------

◇成績評価の方法

▽成績(評定)はテスト・レポート・面接出席状況等から総合的に評価する

▼観点別評価項目

【知識・技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【主体的】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
理科	物理基礎	通年3単位	9	14	12

◇科目の目標

物理や物理現象に対する探究心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。

◇科目の概要

物体の運動とエネルギー、さまざま物理現象とエネルギーについて学ぶ。

◇学習の進め方

教科書を中心に学習を進め、レポートを作成する。

◇履修にあたっての留意点

教科書をよく読み、面接での解説を聞き、理解を深める。

◇スクーリング計画

回	月 日	レポ ー ト	スクーリング内容	教科書
1	4/26.27	1	1編 1章 直線運動の世界（速度・等速度）	P10～P17
2	5/3.4	1	1章 直線運動の世界（等加速度）	P18～P25
3	5/10.11	2	1章 直線運動の世界（自由落下）	P26～P29
4	5/24.25	2	1章 直線運動の世界（鉛直水平投射）	P30～P33
5	6/21.22	3	2章 力と運動の法則（力とは・法則）	P34～P41
6	6/28.29	3/4	3章 仕事とエネルギー（仕事）	P42～P73
7	7/5.6	4	3章 仕事とエネルギー（エネルギー）	P74～P93
8	7/12.13	5	2編 1章 熱	P94～P109
9	10/11.12	6	2章 波（波動）	P110～P123
10	10/19.20	7	2章 波（波動）	P124～P135
11	11/8.9	7/8	3章 電気（電流・抵抗・オーム）	P136～P141
12	12/6.7	8	3章 電気（直列・並列・電力・電力量）	P142～P147
13	12/13.14	9	3章 電気（磁場・電流と磁界・電磁波）	P148～P157
14	12/20.21	9	4章 エネルギーとその利用	P158～P169

◇テスト範囲

前期	レポート 1.2.3.4.5	後期	レポート 6.7.8.9
----	----------------	----	--------------

◇成績評価の方法

▼観点別評価項目

【知識・技能】

… 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解している

【思考・判断・表現】

… 自然の事物・現象から問題を見だし、結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している

【主体的に学習に取り組む態度】

… 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている

▼観点別評価基準

【知・技】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【思・判・表】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

【主体的】 A:合格基準を超え、優れている B:合格基準に達している C:不合格

◇使用教科書 改訂新編物理基礎（東京書籍）